

「開級式」及び「第1回家庭教育学級」

令和6年6月11日（火）
西の原中学校 いちよう学級

【開級式】 10:00～10:10

- 1 はじめの言葉
- 2 校長あいさつ
- 3 運営委員紹介
- 4 家庭教育学級の心構え
- 5 家庭教育学級年間学習計画について
- 6 終わりの言葉

【第1回 家庭教育学級】 10:10～11:00

- 7 はじめの言葉
- 8 講師紹介
- 9 講話 「中学生の子どもの接し方」
講師 西の原中学校スクールカウンセラー
吉澤 恵美 氏
- 10 お礼の言葉
- 11 終わりの言葉

子どもの輝きを願い

～家庭教育学級の開設にあたり～

園や学校では、新たなスタートを迎え、もうじき2か月が過ぎようとしています。新しい友だち、先生、教室など、生活のリズムが変わる中で、お子さまたちは、日々、様々なことを学びながら、成長しているのではないのでしょうか。保護者の皆さまも、新しい環境の中で、多忙な日々をお過ごしのことと存じます。

人は人と出会い、さまざまな人間関係や価値観の違いを経験しながら、成長していきます。その出会いの原点となるのは、子どもたちが初めて出会い、最も深く関わり、人生のお手本とする、保護者を含めた大人たちです。子どもにとって家庭は、基本的な生活習慣を学ぶ場であり、不安や葛藤を乗り越えるために導き、支え、励ましてくれる安らぎの場です。

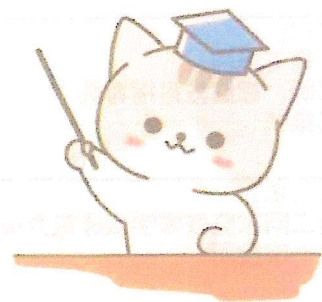
印西市では、将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、子どもたちの成長に合わせてよりよい家庭教育が実現されますよう皆さまにも共に学んでいただく学習の機会として家庭教育学級を開設いたします。子育てについて語らいながら、子どもたちを輝かせるために私たち大人も共に輝いていきましょう。皆さまのご参加を心からお待ちしております。

令和6年5月吉日

印西市教育委員会
教育長 大 木 弘

学級生の心構え

1. わたしたちの学級という意識をもって
取り組みましょう。
2. なるべく出席するようにし、欠席の場合は、
役員に必ず連絡しましょう。
3. 同じ年頃の子どもを持つ親たちの集まりです。
同じような悩みを抱えていることも多いものです。
進んで話し合いに参加しましょう。
4. 学習に参加するときは、筆記用具・ノートを用意しま
しょう。
5. 学習したことは、1つでも実践しましょう。
6. 効果のあったことは、教え合いましょう。
7. 待つ身になって、時間を守りましょう。
8. 一人一役、すすんで協力しましょう。
9. 仲間づくりにつとめましょう。



令和6年度家庭教育学級 年間学習計画書

必修・学年用

西の原 幼稚園・小学校・中学校 1 年 いちよう 学級

年間テーマ（重点目標）

活動を通じて共に学び、親睦を深め、子どもと共に輝こう

回	実施日	テーマ	学習方法	学習内容	講師名	会場
1	6月11日 (火) 10:00 ~11:00	子育て	講話	開級式 講話「中学生の子どもとの接し方」	西の原中スクールカウンセラー 吉澤 恵美 氏	西の原中学校
2	6月29日 (土) 10:00 ~ :	子育て	講演	社会を明るくする運動 青少年健全育成大会		印西市文化ホール
3	7月27日 (土) 10:00 ~ :		講演	市主催 家庭教育講演会	千葉県中央児童相談所 所長 渡邊 直 氏	印西市文化ホール
4	10月 9日 (水) 10:00 ~11:30	教養	実技 実習	実習① アロマスプレー	櫻井 真奈美 氏	西の原中学校
5	11月 6日 (水) 10:00~ 11:30	特別支援教育 人権	講話 視聴	家庭教育シアターフォーラム 「秋桜の咲く日」	生涯学習課推進係	そうふけ公民館
6	12月19日 (木) 10:00 ~11:30	教養	実技 実習	実習② クリスマスリースづくり 閉級式	講師 矢島 祐紀子氏	西の原中学校
7	月 日 () : ~ :					
8	月 日 () : ~ :					
9	月 日 () : ~ :					
10	月 日 () : ~ :					

※実施日は、予定で構いませんが、できる限り日付、曜日を記入して下さい。

※テーマ・学習方法は以下の項目から選択ください。

【テーマ】 1. 子育て 2. 人権 3. 環境 4. 健康 5. 安全 6. 食 7. 教養 8. 趣味

中学生の子どもへの接し方

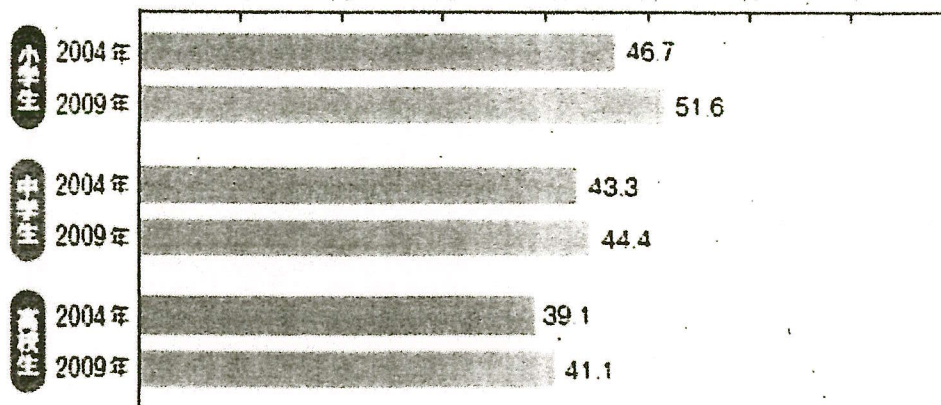
2024年6月11日

西の原中学校スクールカウンセラー: 吉澤 恵美

- ◎アフリカの諺『ひとりの子どもは村人みんなで育てる』⇔現代の日本社会は子どもの育ちが必要とする
コミュニティが機能低下を来している
限られた狭いコミュニティの中で、自分が気に入られないと守ってもらえない不安
(人間関係を強制される不安と人間関係から外される不安との葛藤を抱えている)

仲間外れにされないように話を合わせる

(ベネッセ教育総合研究所「第2回子ども生活実態基本調査」2009年)



◎子どもとの望ましコミュニケーションのあり方とは？

「居場所がない」「生きづらい」と感じる関係性

1. 否定される関係性(認めてほしいのに認めてもらえない)
2. 支配される関係性(異論を唱えようと不機嫌になり、認めてもらえない)
3. 本当のことを言えない関係性(自分に自信が持てず、本来の自分が出せない。
自分への待遇を良くしてほしいのに主張できない)

資料1

Q1: 母親に「静かにしなさい」「泣かないで」と言われても、なぜ子どもは泣き続けているのだと考えますか？

Q2: 母親に「痛くありません」と言われて子どもが黙り込んだのはなぜだと思いますか？

◎ロールプレイ

困っていることや不安、不満に思っていることなどを相手に話したり聴く体験をしてみましょう

聞き上手になるための「さしすせそ」		
さすが		
しらなかった	しってたの！	
すごい		
せいかい	センスあるね	
そうなんだ	そのとおり	その調子

相槌の「はひふへほ」
はあ～！（感心）
ひゃ～！（驚く）
ふ～ん（深くうなずく）
へえ～！（感心）
ほお～（納得）

使いたい3つの P
Paraphrase 相手の発語を繰り返す
Point-out 行動を言葉にする
Praise(Specific) ほめる(具体的に)

減らしたい3つの K
命令(K コマンド)
不必要な質問(K クエスチョン)
批判(K クリティズム)

※聴き手:使いたい3つの P や「さしすせそ」「はひふへほ」を意識して話を聴く

観察者:結果や感想の伝え方にも P や「さしすせそ」「はひふへほ」を意識してみてください

P スキル	カウント	合計
ほめる		
くりかえす		
行動を言葉に		

K スキル	カウント	合計
コマンド		
クエスチョン		
批判		

巻頭言 「イタイよー」

これは、私がまだ高校生だったところに、電車で通学していた時のお話です。

ある朝、いつものように通学の電車に乗って出発するのを待っていました。ふと、外を見ると、発車ベルが鳴り響く中、四歳くらいの男の子をつれたお母さんが駅の階段を走って下りてきます。私は「間に合うといいなあ」と思いながら二人を見ていました。二人は急いで電車に駆け込んで、なんとか間に合うことができました。私は「よかった」と安心しました。けれども、男の子が転んでしまったのです。

男の子は、泣きだしました。電車は通学の学生や通勤の社会人でいっぱいいます。お母さんは、泣いている男の子に「しずかにしなさい!」とたしなめます。けれども男の子は、「イタイよー」と泣き続けています。お母さんは、さらに、きりっとした表情で「迷惑ですよ、泣かないで!」と説得しています。すると男の子はさらに大きな声で「イタイよー、イタイよー」と泣き叫んでしまったのです。

そして、お母さんが言った一言。四〇年近く前の出来事ですが、私の脳裏に焼き付いて離れない一言でした。お母さんは毅然とした表情で言ったのです。

「痛くありません!」

その一言で男の子は気押されたかのように、黙りこくってしまいました。

私は、脳裏に焼き付く何かを感じたのですが、それが何か分からないままでした。

私は大学卒業後に子どもたちの教育に二三年携わりました。その後、臨床心理士養成大学院の教員となつて一六年間、臨床心理学の知識と技術そして経験を積んできました。そして、ようやく、この出来事が男の子にとって臨床心理学的にどのような意味を持っているのか説明できるようになりました。また、私が何をしたいのかもはっきりしてきました。

このお話を読まれた皆さんは、どのように感じてどのように理解されるでしょうか。

山形大学 宮崎 昭